

## 事後評価結果（平成17年度採択）

番号	研究課題名	研究代表者	評価
17-5	集客地の活性化に資する、道路ホスピタリティ表現手法についての研究開発	東京大学アジア生物資源環境研究センター教授 堀 繁	B
<p>&lt;研究の概要&gt; 道路空間の魅力を向上させるため、来訪者の居心地、楽しさ等に関わる要素とその効果を整理する等のホスピタリティ手法の研究開発を行う。</p> <p>&lt;主な研究成果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 集客地における道路のホスピタリティ表現について、実際の道路整備で使えるよう、99タイプの型に類型化</li><li>・ 各タイプについて、道路を専門としない人を想定し、写真を添えて、平易な用語・文章で解説</li></ul> <p>&lt;事後評価結果&gt; 集客地の道路におけるホスピタリティ表現という新しい視点を提唱した上で、具体的な形として類型化を行い、事例集がとりまとめられており、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</p> <p>&lt;参考意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 事例集においては、類型化されたホスピタリティについて、解説を十分に付加することにより、その考え方を浸透していく必要があるとともに、実務上の観点から、今後、適用の仕方を整理することが期待される。</li></ul>			